

一 山野さんは「わたしたちの町のよいところ」という題で文章を書きました。調べたことや考えたことなどをカードに書いたあと、関係のあるグループごとにまとめて題をつけました。次のカードとまとめたものを見て、あとの問題に答えましょう。

わたしたちの町のよいところ

お祭りが多い	交番が多い	かぶと虫がいる
児童館	水がおいしい	病院が多い
市民プール	森林公園	花火大会
スポーツ広場	カメラの工場がある	買い物がべんり
駅に近い	ごみが少ない	川がある

わたしたちの町のよいところ

児童館	市民プール	花火大会
スポーツ広場	お祭りが多い	交番が多い
買い物がべんり	病院が多い	水がおいしい
駅に近い	ごみが少ない	カメラの工場がある
川がある	かぶと虫がいる	森林公園

〔考えを広げよう、まとめよう〕より(平成二十七年 学校図書)

1 ① の題に合う言葉を次のアからウまでの中からえらんで、記号で書きましよう。

ア 自然

イ 休日

ウ 季節

2 文章を書くときに、調べたいことや考えたことなどを整理するとよいのはなぜですか。次のアからウまでの中からえらんで、記号で書きましよう。

- ア カードをなくさなくてすむから
- イ 調べたことがおだにならなから
- ウ 調べたものどうしのつながりが分かるから

※次のページにも問題があります。

めあて 中心となる語や文をとらえて内容を整理しよう。

二 次の文章は、もうどう犬の訓練の様子を書いた文章の一部です。この文章を読んで、あとの問題に答えましよう。

使っている人にとってきけんな命令には、したがわないうことも教えられます。たとえば、自動車走って行く所で、わざと「ゴー」(進め)と命令し、命令どおりに進むと自動車とぶつかりそうになるという訓練をします。このような訓練をくり返して、いあぶないときは、「ゴー」と言われても、前へ進まないことをおぼえるのです。

訓練を通して、もうどう犬にふさわしい心がまえも身につけていきます。もうどう犬は、たくさんの人がいそがしく動き回っている町で仕事をします。そこでは、いろんなことに合います。しかし、どんなことがあっても、おこったり、ほえたり、あべれたりしてはいけません。また、仕事中は、人にあまえたり、じゃれたり、おいしそうなにおいをする方に行こうとしたりしてはいけません。さらに、ほかの犬がほえても、気にしないこともひつようです。こうした訓練は、約三か月から半年かかります。さらに仕上げの1か月は、突さいにもうどう犬を使う人といっしょに生活し、いっしょに町を歩く練習をします。

吉原順平「もうどう犬の訓練」より(平成二十七年 東京書籍)

1 文章中の「線」がさしている内容を、文章中から二十字で書き抜ましよう。

20									
と命令をすること。									
②									

2 文章中の「線」がさしている内容を、文章中から二十字で書き抜ましよう。本文中の言葉を用いて二十字以内で書きましよう。

20									
と命令をすること。									
③									

3 この文章で書かれていることとして、ふさわしいものを、次のアからオまでの中から三つえらんで、記号で書きましよう。

- ア きけんな命令にはしたがわないうこと
- イ もうどう犬のしるい
- ウ もうどう犬にふさわしい心がまえ
- エ もうどう犬を使う人の気持ち
- オ 訓練にかかる時間

(完全解答)